

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	町民自らも楽しみながら交流するまちづくり	分野(章)番号	6
政策名(項)	地域資源を生かした体験型観光の推進	政策(項)番号	II
施策名(目)	観光資源の拡充と推進体制の強化	施策(目)番号	①
担当課	商工観光課	担当課長	大槻 正儀

## 1. 施策の基本方針

施策目的	・豊かな地域資源を生かした体験型観光を推進することにより、観光客の増加と交流人口の拡大を図り、地域経済の活性化を図ることを目的とする。
------	---------------------------------------------------------------------

## 2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	・住民が主体となった体験交流も数多く、それら丸森型体験観光に関する情報を広く発信することが求められている。	・都市住民の憩いや癒しの場としての農山漁村への関心は高まっており、身近な観光としての直売所や農家レストランへの来遊も増えている。 ・県が掲げる平成28年度までの「富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～」では、観光王国としての体制整備を戦略的に進めている。 ・東京電力福島第一原発の事故の影響による風評被害で、宮城県や福島県への観光客が大きく減少している。							

  

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	観光客入込数	目標			550,000人	550,000人	555,000人		
		実績	502,498人	531,300人	571,281人			555,000人	
		達成率			103.9%				
参考①	観光施設等利用者数	目標			150,000人	170,000人	196,000人		
		実績	140,666人	146,588人	113,088人			196,000人	
		達成率			75.4%				
参考②	HPアクセス数	目標			90,000件	130,000件	130,000件		
		実績	31,990件	85,044件	117,349件			130,000件	
		達成率			130.4%				
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		73,823千円	81,166千円	73,553千円	72,992千円	78,961千円	77,498千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	3,226千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	73,823千円	77,940千円	73,553千円	72,992千円	77,898千円	77,498千円
従事者数	正職員	2.93人/年	2.98人/年	3.05人/年	3.05人/年	3.10人/年	3.00人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	19,728千円	20,314千円	20,793千円	20,793千円	21,134千円	20,452千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		2,541千円	2,920千円	2,989千円	2,989千円	3,038千円	2,940千円
トータルコスト		96,092千円	104,400千円	97,335千円	96,774千円	103,133千円	100,890千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a 達成度は非常に高い b 達成度はやや高い c 達成度はやや低い d 達成度は低い
	[説明]		・関係団体と協力してPR活動や様々な体験イベントなどを実施し、風評被害の影響等により減少した観光客入込数が回復してきており達成度はやや高い。
	施策成果向上の可能性	b	a 可能性は十分ある b ある程度可能である c 可能性はあまりない d 可能性はない
	[説明]		・観光資源を生かした各地区でのイベント開催や、各団体の連携調整と情報発信の強化により、一日も早く風評被害を払しょくすることにより、観光客入込数が徐々に増加していく可能性はある。
	貢献度	b	a 貢献度は非常に高い b 貢献度はやや高い c 貢献度はやや低い d 貢献度は低い
[説明]		・観光施設・イベントなど、町のPRに大きな役割を果たしているとともに、直売所の開設等で直接参加するスタイルにより町民自らの活力増進に貢献している。 ・町にある様々な観光資源をHPで情報発信したり、マスコミにも多く取り上げられており貢献度はやや高い。 ・観光施策を推進すること自体が交流人口を増やすことになるので、貢献度は高い。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流の拡大を経済的効果までつなげることが必要である。</li> <li>・個別の取り組みは数多くあるが、全体コーディネートができていない。</li> <li>・あぶくま荘の建替を早く進めるとともに、老朽化した他の施設の魅力アップのためのハード事業が必要である。</li> </ul>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・交流人口70万人計画の実践により、各観光施設、イベント、体験交流等を全体的にコーディネートし、新たな観光ルートを開発することで、町の魅力のPRを図り、観光客の滞在時間の延長と客単価の向上につなげる。
------	------------------------	---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。